

射水市立新湊小学校 令和6年5月24日



はまっこ

令和6年度-第2号 校長 竹林 浩樹



緑まぶしい季節 元気いっぱいの子供たち

風にそよぐ木々の緑がまぶしい季節となりました。先日は、親子奉仕活動ありがとうございました。すっきりとした環境の中で学習が進められています。



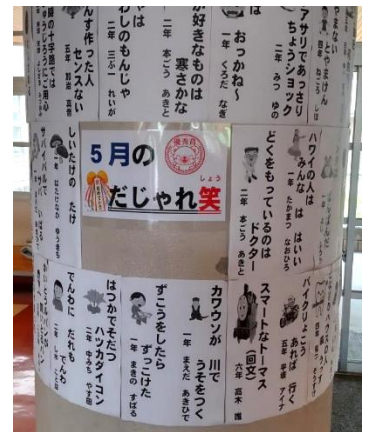
【奉仕活動の様子 5/6】

最初は学校生活に慣れることに一生懸命だった1年生でしたが、2年生や高学年のサポートもあり、徐々に小学校の生活を送ることができるようになりました。そして児童玄関ではきちんと挨拶ができるようになってきました。給食にも慣れてきたようで、モリモリと食べ、休み時間は元気に教室を出ていく姿が見られます。

2年生から6年生もそれぞれ新しい仲間や先生、環境の中で、元気いっぱい学習や諸活動に取り組んでいます。年度初めに立てた、一人一人の目標を常に意識しながら、発達段階に応じた精一杯の取組ができるよう、私たち教職員も支援していきたいと思えます。特に6年生は最上級生としての意識をもって、行事やたて割り活動等に積極的に関わっています。今日までの様子を見てみると、新湊小学校をより活発で、居心地のよい温かいところとするための原動力として行動しており、とても頼もしく感じています。

合言葉は「**みらいへ チャレンジ チェンジ**」

今年度の合言葉が「みらいへ チャレンジ チェンジ」に決まりました。児童のタブレットによる投票により、最終候補6つの中から選ばれました。新湊小学校の輝かしい未来へ向かって、今年度の歩みを進めたいと思えます。楽しいチャレンジも展開中です。ダジャレコーナーが誕生しています。児童玄関を入ったところに子供たちの発想豊かな100を超える作品が掲示されています。ご来校の際には、ぜひご覧ください。



学校運営協議会がスタート

今年度から学校運営協議会がスタートしました。今月の初めに教育委員会から7名の方々に任命されました。地域の方々や保護者の皆様に支えていただき、子供たちの成長につなげていきたいと思えます。同時に学校応援ボランティア募集の案内も配布いたしました。一人でも多くの方に、学校応援隊に加わっていただけましたらうれしく思えます。未来へ向かってチャレンジする子供たちや学校の応援をよろしくお願ひいたします。

役 職	委員名
会 長	尚和 昌治
副会長	釣 雄彦
主任児童委員	綿谷 淳子
主任児童委員	高野 浩昌
保護者代表	米田 大樹
コーデ	綿谷 昌幸
コーデ	黒川 雅代

【学校運営協議会委員名】

子供たちの活躍の様子は、ホームページでもご覧いただくことができます。



【ホームページQRコード】

全体のイメージは、校区のシンボル「新湊曳山」
 標識は「校章」で、前人形は150周年マスコット「まっつん」、鏡板は「4つの伝統」です。

令和6年度 射水市立新湊小学校



学校運営グランドデザイン

射水市教育の基本理念

- ・豊かな人間性と創造性を備えた、たくましい人材の育成
- ・射水市を担い、様々な分野で活躍できる人づくり

学校教育目標

自ら学び、心豊かにたくましく生きる子供の育成

本年度の重点目標

楽しく学び合い、共に伸びていく はまっこの育成
 ふるさと学習（地域のすてき再発見の旅） 創校 151 周年
 合言葉 ～未来へ チャレンジ チェンジ～

目指す学校の姿

子供にとって	「魅力ある楽しい」	学校
保護者にとって	「子供を通わせたい」	学校
教職員にとって	「働きがいのある」	学校
地域にとって	「協力・応援したくなる」	学校



つなぐ4つの伝統



こんな はまっこを 目指します

徳 協和敬愛
 助け合う子
 相手を思いやり、協力して働く子

体 自主自律
 たくましい子
 健康や安全について考え、自ら実践する子

知 創意工夫
 進んで学ぶ子
 共に学び合い、考えを深めていく子

重点目標達成のための行動目標（アクションプラン）

アクションプラン1
 「友達や家族にあたたかい言葉をかけたり地域の人に挨拶したりする」子供（90%以上）

アクションプラン2
 「目当てをもち、楽しく体づくりに取り組む」子供（90%以上）

アクションプラン3
 「進んで考えをもち友達の考えと比べる」子供（90%以上）

【ふるさと学習】
 ふるさと新湊すばらしい歴史や文化、自然に関心をもち、ふるさと新湊について進んで学び、未来の自分と地域との関わりを考える子供の育成

【地域との連携】
 学校運営協議会や保護者、地域連携による子供の安全安心の確保、防災教育の充実、外部人材・地域教材活用の推進

教職員も次の研修に力を入れます

- ① ICT活用の推進…子供たちに身に付けさせたいスキルについて、学年段階や学習場面ごとに応じて、効果的な活用方法を探ります。
- ② 対話的・協働的な学びの追究…地域の方々との交流を通して、対話的・協働的な学びの機会を充実させます。学校運営協議会や地域のマンパワーを借りながら各教科はもちろん、特別活動や道徳、総合的な学習の時間等、教育活動全般において「地域のすてき」再発見に努めます。
- ③ OJT・Off-JT・SDの推進…自己啓発や校外での研修等、それぞれ独立していた学びをOJTや校内研修を通して紹介し合うことで、教職員一人一人のスキル向上や資質の向上に努めます。